別記様式第1号その３

電気通信回線に接続して行う自動公衆送信により公衆の閲覧に供する方法を用いるかどうかの別	1.用いる　　2.用いない

送信元識別符号													

記載要領

1　申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
2　不要の文字は、横線で消すこと。
3　数字を付した欄は、該当する数字を〇で囲むこと。
4　送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。
5　送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。
6　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。